

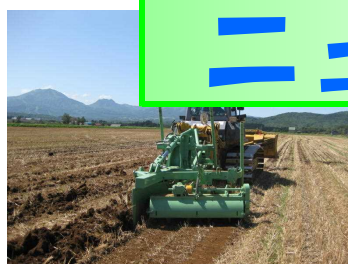
2020年10月15日発行  
(公財) 北海道農業公社

▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



# 農業公社 ニュース



(創刊号)

時は早10月。令和2年度に入ってから既に半年間が経過いたしました。  
新型コロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、農業生産においては、本道ではこれまで目立った災害もなく、平年作以上となっているこの出来秋を皆さまとともに大いに喜びたいと思います。  
農業公社ニュースの創刊号をお届けいたします。

(順不同)

## ■ 本年6月1日に創立50周年を迎えました！

当公社は、本道農業の経営規模拡大や生産性向上に資する各種事業を総合的に実施する公益法人として、昭和45年に北海道、北海道生産農業協同組合連合会、社団法人北海道酪農開発事業団の三者により設立されました。

その後、平成21年に社団法人北海道農業担い手育成センターと統合し、農業の担い手育成・確保対策にも取り組むこととなり、24年には「公益財団法人」として移行認定を受け、併せて「北海道農業開発公社」から「北海道農業公社」に名称を変更いたしました。

また、26年には道から「農地中間管理機構」の指定を受け、それまでの農地保有合理化等事業を通じた売買事業に加え、賃貸借事業による担い手への農地の集約化に総合的に取り組んでいるところです。

本年6月1日が創立50周年を迎えた創立記念日。新型コロナウイルス感染症対応の関係で記念式典等はやむを得ず中止としましたが、半世紀にわたる当公社の足跡を後世に伝えるため、「50周年記念誌」を発行するとともにスライドショーも作成しましたのでご覧ください。

[https://www.adhokkaido.or.jp/pdf09\\_intopa/ad50th.pdf](https://www.adhokkaido.or.jp/pdf09_intopa/ad50th.pdf) ◀ 《記念誌》

〔 ↑ HP画面上の右クリックで文字検索が可能です! 〕

〔 [HP掲載準備中](#) 〕

◀ 《スライドショー》

【総務部】

## ■ 第3次中期経営方針（R2～4年度）がスタート

当会社では、経営の進むべき方向性を「経営方針」として3年ごとに策定しており、創立50周年という大きな節目の令和2年度から4年度までを期間とする「第3次中期経営方針」を本年3月に策定しました。

[https://www.adhokkaido.or.jp/pdf01\\_common/keieihoshin\\_3.pdf](https://www.adhokkaido.or.jp/pdf01_common/keieihoshin_3.pdf)

この中期経営方針に基づき、関係機関・団体の方々と一体となり、各種支援策を有効に活用しながら、効果的・効率的な事業の推進に努めるとともに、本所・支所の広域化など組織体制の再編についても検討・推進することとしています。

【総務部】

## ■ 農業経営に関する様々なお悩みにお応えします！ 「北海道農業経営相談所」開設のお知らせ

農業経営者の皆さんの法人化や事業拡大、経営改善、経営継承など農業経営に係る様々な課題を解決するため、地域の関係機関と連携しながら、中小企業診断士や税理士、社労士などの専門家を無料で派遣し、アドバイス等の支援を行う「北海道農業経営相談所」の業務を本年4月から行っています。

地域農業や経営の諸課題を解決するため、当相談所を是非ご活用下さい。

- ▼ 詳細及びお申込みはこちらから  
（公財）北海道農業公社内  
北海道農業経営相談所ホームページ

<https://www.adhokkaido.or.jp/keieisodan/keieisodan.html>

【お問い合わせ先】

電話番号：011-522-5579

【農業経営相談室】

## ■ 農業を仕事にしたい！ 北の大地への入門編！ 「北海道新規就農・農業体験セミナー」開催のお知らせ

新規参入・農業体験・法人就職をキーワードに、北海道農業へのかかわり方をわかりやすくご説明する「北海道新規就農・農業体験セミナー」を毎月開催しています。

本年度は月1回、札幌会場での「直接面談」と全国どこからでも参加可能な「オンライン面談」を開催しておりますので、関心をお持ちの方々には、ぜひお声がけをお願いします。

- ▼ 詳細及びお申込みはこちらから  
（公財）北海道農業公社ホームページ

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/seminar/>

【お問い合わせ先】

電話番号：011-271-2255

【担い手支援部】

## ■ 公社営農場リース事業で新規就農のお手伝い ～ 施設の改修工事を進めています ～

酪農等における新規就農を支援するために実施している農場リース事業ですが、本年度は上川管内2地区、釧路管内2地区、根室管内4地区、宗谷管内2地区の計10地区が採択を受け、現在、継承する離農跡地にある畜舎等施設の改修工事を進めています。12月上旬頃までには各地区で工事が完了し、営農を開始できる予定です。

昭和57年から40年近く取り組んできている本事業を通じ、令和元年度までに414名の新規就農のお手伝いをさせていただいており、そのうちの63%が道外出身の方々です。

[https://www.adhokkaido.or.jp/pdf09\\_intopa/nc\\_gaiyo2020.pdf#page=6](https://www.adhokkaido.or.jp/pdf09_intopa/nc_gaiyo2020.pdf#page=6)

【農用地部】

## ■ 所有者不明農地を借受し、地域の担い手に貸付しています！

農地中間管理事業では、相続放棄等による所有者不明農地について、市町村（農業委員会）による権利者の探索等の必要な手続きを経た後に、公社が知事裁定を申請し、農地の利用権の設定を受けています。

この手続きにより、これまでに約4haの農地を借受し地域の担い手に貸付していますが、このうち2.9haについては、20年以上肥培管理等が行われていなかったため、公社が保有する機械と技術を活用し、雑草除去及び土壌改良等の保全管理を行った上で貸付を行いました。

【農用地部】

## ■ 牧草のフロストシーディング（初冬季播種）の取組

道内の草地における整備・更新率の低迷や雑草の侵入、さらには、夏場（7～9月）への工事工期の集中による施工体制の維持が課題となっている中、植生改善や工期拡大を目的に、平成29年度から雪印種苗（株）と連携し、フロストシーディング実証試験を開始しています。従来の工法における工事上の難点である外気温条件をクリアするため、積雪上に播種を行い、工期拡大及び安定的な工法確立をめざしているものです。

3年間の実証試験を経て、積雪上でも一定の成果を上げることができました。試験の詳細は、雪印種苗（株）広報誌の「牧草と園芸」（2020年9月号）に紹介されています。

[https://www.snowseed.co.jp/wp/wp-content/uploads/grass/202009\\_02.pdf](https://www.snowseed.co.jp/wp/wp-content/uploads/grass/202009_02.pdf)

今後は、マメ科定着率向上のための越冬試験、凍結促進による地下茎型イネ科雑草抑制試験を継続することとしています。

【農場整備部】



## ■ 近い将来、肉牛もスマホで買える時代が来るのかも？

本年は新型コロナウイルス感染拡大により府県への出張を自粛しているため、畜産部が実施する肉用牛貸付事業に係る購買頭数が減少しています。これを補うため、現地関係者に購買を委託し導入を進めていますが、そこで活躍したのがインターネット上の市場セリライブ映像です。

直接の落札はできませんが、ねらった牛の落札の瞬間をリアルに確認でき、また、選畜には直接牛の確認が必要ですが、事前に出場牛の映像情報なども配信されます。さらに電子化が進めば、スマホなどの端末を使ってどこに居ても肉牛が買える、そんな時代が来るのかもしれないね。

(⇒ ライブ映像配信市場 ～ 宮崎県小林地域家畜市場、鹿児島県曾於中央家畜市場など多数あり)

【畜産部】

## ■ 牧場での収穫作業が無事終了

十勝育成牧場（大樹町）では、年間約1,000頭の乳用牛と約180頭の肉用牛を飼育しており、自給飼料を確保するため、総面積約500haのうち毎年1番草で300ha、2番草で200haのグラスサイレージ収穫作業を行っています。

本年の2番草収穫は、天候不順により9月7日から始まり、9月24日までと長期間に及びましたが、無事作業が終わり、1年間の大切な飼料を確保することができました。

【十勝育成牧場】

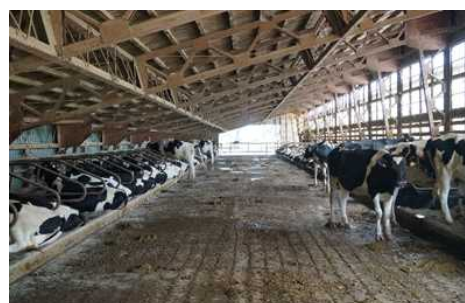
## ■ 冬に向けて下牧作業が始まります

十勝育成牧場は広大な敷地を利用し、春から秋までの期間、放牧地で乳用牛の飼育管理を行っています。牛たちはストレスのない環境で、良質な草を食するため、健康で丈夫な体に育ちます。

秋が深まる10月頃、まるまると良質に育った牛たちに、ワクチン接種や個体確認等を行い、放牧地から牛舎へと移動させる下牧作業に取りかかります。

下牧した牛たちは、収穫した牧草や配合飼料で、寒くて長い冬を乗り切ります。

【十勝育成牧場】



本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑩ 支所・牧場



本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23  
TEL.011-241-7551(代表) FAX.011-271-3776  
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監 査 室 TEL. 011-241-7557	総 務 部 TEL. 011-241-7551	担 手 支 援 部 TEL. 011-271-2255
農 業 経 営 相 談 室 TEL. 011-522-5579	農 用 地 部 TEL. 011-241-5751	農 村 施 設 部 TEL. 011-241-5701
農 場 整 備 部 TEL. 011-241-7554	畜 産 部 TEL. 011-241-5761	統 括 労 働 安 全 衛 生 委 員 会 TEL. 011-241-7557

支所・牧場

① 道央支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館  
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

② 道南支所

〒040-0073 函館市宮前町33番13号 道南農業会館  
TEL. 0138-44-5600 FAX. 0138-44-5615

③ 日胆支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館  
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

④ 十勝支所

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地 農協連ビル  
TEL. 0155-24-0254 FAX. 0155-24-0261

⑤ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館  
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

⑥ 根室支所

〒086-1006 標津郡中標津町東6条南1丁目2番地 根室農業会館  
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

⑦ 北見支所

〒090-8650 北見市とん田東町617番地 農業管理センター  
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

⑧ 上川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA上川ビル  
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

⑨ 道北支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館  
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

⑩ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地  
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159